

ペテロ、神殿で説教する

使徒言行録 3:13-15、17-19

（その日、ペテロは民衆に言った。）「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光をお与えになりました。ところが、あなたがたはこのイエスを引き渡し、ピラトが釈放しようとして決めていたのに、その面前でこの方を拒みました。聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦すように要求したのです。あなたがたは、命への導き手である方を殺してしまいましたが、神はこの方を死者の中から復活させてくださいました。わたしたちは、このことの証人です。

ところで、兄弟たち、あなたがたがあんなことをしてしまったのは、指導者たちと同様に無知のためであったと、わたしには分かっています。しかし、神はすべての預言者の口を通して予告しておられたメシアの苦しみを、このようにして実現なされたのです。だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。」

説教

ある時、礼拝がおわって一服していると5,6歳の男の子が近寄ってきてボク、イエスさまを知っているよと話しかけてきました。しばらく二人でイエスのお話をして、それじゃ復活したって知っている？と訊ねると、それはどういうこと、と尋ね返してきました。十字架と復活のはなしをするとぼうやはとても驚いたようすでしたが安心したようでもありました。復活を聴いて始めはとまどいしましたが、彼はイエスさまをアンパンマンに重ねて理解したようです。アンパンマンはパン工場で新しい顔をつけてもらおうと元気回復、復活するわけです。

きょうの第一朗読は使徒言行録の3章で、美しの門で歩行不能者をいやしたペテロに群がる民衆に「復活の証人」として宣教した様子が記されます。ペ

テロの神殿での説教ではイエスを信じ、悔い改めて立ち返る人は増えていきます。

神はすべての預言者の口を通して予告しておられたメシアの苦しみを、このようにして実現なされたのです。だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。言行録 3 : 18-19

このように語るペテロは神殿に集まったユダヤ人たちだけではなく、いまに生きるわたしたちにもイエスの死と復活を告知し、悔い改めを求めています。わたしたちが子どものように、このことばをシンプルに受け止め、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰ることができますように。
